

町田市幼保小連携推進事業

～なかよく！いきいき！わくわく！～

町田っ子だより

町田市では2016年度から「町田市幼保小連携推進事業」をスタートしています。2018年度には、町田市内の保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の先生方のご協力をいただきながら、幼児期から児童期への円滑な接続を目指し事業を進め、「町田市接続カリキュラム」が策定されました。

2019年度は、町田市接続カリキュラムによって幼保小連携を進めていくために、「町田市幼保小連携推進委員会」を立ち上げ、協議結果を市内全域へ周知する取り組みを行っています。

<町田市幼保小連携推進委員会 委員一覧（敬称略）>

委員長：成瀬台小学校 校長 中村雄一
副委員長：町田こぼと幼稚園 副園長 神藏かおる

<幼稚園・保育園>

サンフィール保育園	平埜美代子	(1歳児クラス担任)
しぜんの国保育園	鈴木絵美	(主任)
小野路保育園	小寺咲	(2歳児クラス担任)
市立こうさぎ保育園	榎本美知子	(担当係長)
鶴川若竹幼稚園	岸野優羽	(主任)
幼保連携型認定こども園さくらん	勝田智子	(副園長)
認定こども園子どもの森幼稚園	古関いずみ	(副園長)

<小学校>

七国山小学校	西和昌	(副校長)
町田第一小学校	鷺見知	(主任教諭)
町田第六小学校	栗木勇	(主幹教諭)
つくし野小学校	上野恵里	(主任教諭)
鶴間小学校	島崎はるか	(教諭)
大蔵小学校	田中牧子	(教諭)
小山田南小学校	糟谷志乃	(主任教諭)
大戸小学校	小川和子	(主任教諭)

第1回 町田市幼保小連携推進委員会の模様 2019.6.20 実施

第1回目は、①幼保小連携についての課題共有、②実践事例の紹介（サンフィール保育園・町田こぼと幼稚園）、③町田市接続カリキュラムの内容やアプローチカリキュラムについての意見交換を行いました。

＜実践事例の紹介模様＞



＜幼保小連携の議論・発表模様＞



＜実践事例の紹介 ①サンフィール保育園＞

サンフィール保育園では、外国人教師をお呼びして、英語をつかった「遊び」を取り入れています。体を動かしながら楽しく英語に触れ、言葉や文字への興味・関心を引き出している様子が紹介されました。

＜実践事例の紹介 ②町田こぼと幼稚園＞

町田こぼと幼稚園では、「自分について知り、主体的な学びへつなげる」きっかけをつくるために、ゲームでお友達の良いところ・得意なところを他己推薦し合ったり、様々な職業のゲストをお呼びして自分の特性を活かした職業について考えたりしながら、子どもが主体的に自分を振り返り次のステップを考え進めるようにしていく教育を実践していました。

＜現在行っている幼保小連携の取組み（一部紹介）＞

- ・小学校へ訪問し、1年生の授業見学
- ・開放されている小学校の校庭で遊ぶ
- ・小学校高学年の児童との交流 など

＜課題の共有（一部紹介）＞

- ・もっと園の担任が学校担任と交流できれば・・・
- ・連携の方法の在り方について、わからない点が多い
- ・接続とは？子どもの能力に差がない状況である？
- ・園の方針の違いがあり、保育園と幼稚園にも違いがある点が難しい。子どもたちの経験に共通点がないか探していければ。 など

小学校の先生方にとって、保育・教育現場のお話は大変参考になりました！



委員会が終わって・・・事務局より

第1回目は、町田市の幼保小連携の課題を中心に話し合いを行いました。そもそも幼保小連携の課題について小学校と保育園・幼稚園の先生方とで話し合えるような交流の場が少なく、もっと話し合える機会がほしいという声が多く出ました。

町田市接続カリキュラムがスタートし、各園・小学校でカリキュラムを作成していくこととなりますが、実際に先生方が話し合える場を設けていくこともより一層重要になってきております。今後は先生方同士が意見交換できる場をつくっていきたいと思っております。

第2回 町田市幼保小連携推進委員会の模様 2019.8.22 実施

第2回目は、町田市内の保育園・幼稚園・認定こども園、公立小学校の先生方を対象に、「町田市幼保小連携推進担当者連絡会」として、講演会と、小グループでの意見交換会を行いました。120名の方々が参加され、充実した一日となりました。ご参加いただきありがとうございました。

「接続のためのそれぞれの役割 ～特別支援教育の視点から～」

講師：町田市教育センター 特別支援教育・人材育成アドバイザー 丸 節子氏

会の前半では、町田市教育センター特別支援教育・人材育成アドバイザーの丸先生から、小学校への接続を、特別支援教育（障がいのある子ども、その他支援の必要な子どもの生活や学習上の困難を改善または克服するために、適切な指導及び必要な支援を行うもの）の視点でご講演をいただきました。

講演メモ

- 子どもを理解するときは、①「子どもの困り感に気付く」（困っているのはその子・・・という視点に切り替える）こと、②行動をよく見ること、③行動を起こす原因を探る（各種障がいの特性や対応方法について）ことで、効果的な指導・支援を行うことができること。
- 全体への指導の中でも、子どもに対し、活動内容や指示を明確にしたり、分かりやすい評価（具体的な言葉で評価する、メッセージ YOU メッセージ、リピート法等）をしたりすることで、適切な指導・支援ができること。
- 子ども一人ひとり「支援の量」は異なって当然だが、「評価の機会」はできるだけ平等にすること。



参加者の声

- 困っているのは担任（大人）ではなく、子ども自身だということを改めて認識しました。
- 子どもの良いところを認めていくことで負の行動が減るといったところが心にひびきました。どうしても負の行動に注目してしまい、直そうとしてしまいます。
- やってはいけないこと、声かけ等は分かっているけど、それをどう変換して子どもに伝えたり見せたりすれば良いのか分からないことがよくあるので、どうしたらよいのか教えて頂けてとても勉強になりました。
- 子どもたちの困っていることにもっと理解して、子どもの気持ちになって保育をしたい。

会の後半は、32の小グループに分かれ、保育園・幼稚園・認定こども園と小学校の先生方同士でそれぞれ意見交換を行いました。

<意見交換の様子>



参加者の声

- このような機会を多く持ち、意見交換ができると良いと思いました。
- 幼保の先生が小学校に来る、小学校の先生が幼保に行くという機会があると、実態や様子がお互いによくわかるのではないかと感じました。
- 意見交換会で園の方の生の声が聞けたので、もっと他の園の先生とお話を聞ける機会があれば有難いと思います。

委員会が終わって・・・事務局より

第2回目は、町田市全体の幼保小連携への意識を深めるために、町田市全園・全公立小学校対象の会を開催しました。先生方同士が意見交換できる場として、できる限り近隣の園・小学校でグループを組んで、これからの交流や連携に発展しやすいよう意識しています。参加された多くの先生方から、とても充実した時間になったという声をいただき、今後もこうした場を積極的につくっていくことが重要であると改めて実感しました。

皆様の幼保小連携の取組みがあれば、
ぜひ取材させてください！

町田市幼保小連携推進事務局 田中・若杉・吉川・小俣

042-724-2138 まで！

